

釜ヶ峰アベマキ・アカマツ遺伝資源希少個体群保護林におけるナラ枯れ被害について

保護林の概要

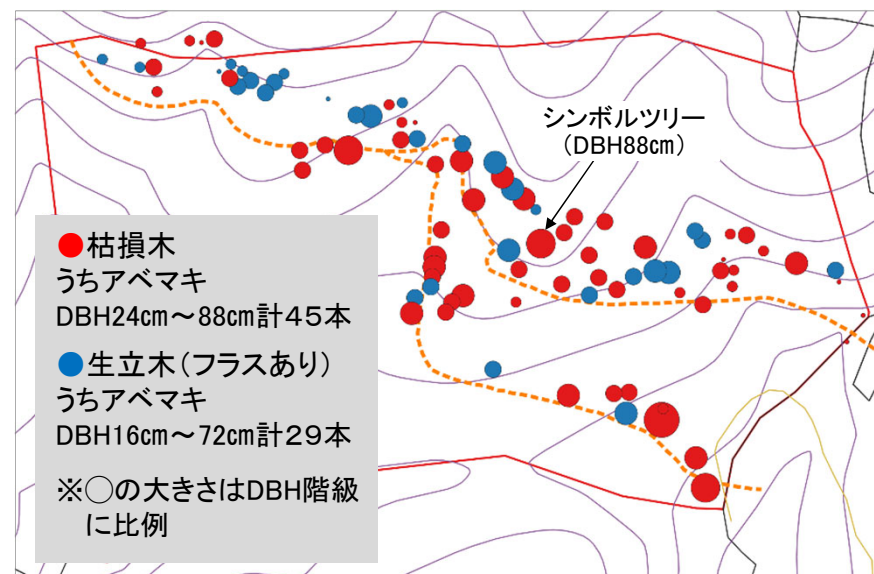
- 所在地 広島県庄原市口和町
(標高520~550m)
- 面積 5.41ha
- 保護対象種
アベマキ、アカマツ
- 林分状況
約140年生(明治17年にぼう芽更新し、その後も枝打ちを実施した記録あり。)、樹高25~30mのアベマキ林が維持されており、アカマツが点在。その他、イヌシデ、リョウブ、ヤマザクラ等が林冠層を形成



経過と今後の対応方針(現時点案)

前回平成30年8月のモニタリング調査では被害報告はなかったが、委員から指摘があり、令和2年10月にナラ枯れ被害を確認

令和4年3月以降、カシノナガキクイムシの羽化脱出までに、健全木のうち穿孔対象になりやすいものを中心に、殺菌剤の樹幹注入、ビニールシート被覆等の防除を行う。防除に際しては、森林総研等の専門家に現地での助言を依頼予定



危険木処理も念頭に、まずは歩道下10m、上30m程度の範囲で健全木以外の個体を調査